

# 長野県佐久市中込における新映画館「なかごみ座」の開業計画と来訪客数予測および地域経済波及効果に関する調査分析レポート

## 1. 事業概要と新映画館「なかごみ座」の設立背景

長野県佐久地域においては、2023年9月に地域唯一の映画館であった「佐久アムシネマ」が閉館したことにより、映画鑑賞拠点が消失する事態が生じた。この文化的インフラの途絶に対し、同市出身の映画監督である新海誠および所属制作会社である株式会社コミックス・ウェーブ・フィルム（CWF）が中心となり、地域における映画文化の再生と交流拠点の創出を目指すプロジェクトが展開されている。本事業の運営主体として2024年8月に「株式会社CWF CINEMAS」が設立され、新劇場名は半世紀前に同地区に存在した劇場に由来する「なかごみ座（なかごみざ）」に決定した。建設地は新海監督が高校時代に通学で利用していたJR小海線中込駅の目前に位置し、作品の原風景が残る立地となっている。

本事業は当初2026年夏の開業を目指していたが、近年の建築資材価格および人件費の高騰という建設環境の悪化を受け、計画の精査が行われた。これに伴い、資本金を増資（資本金準備金を含み4億2,000万円）のうえ、開業目標時期を2027年春へと再設定して着工準備が進められている。

本計画の際立った特徴は、単なる地方都市のミニシアター再建にとどまらず、アニメーション業界を代表する企業群や地元意欲企業との強力な出資アライアンスが形成されている点にある。出資者には、コミックス・ウェーブ・フィルムや新海クリエイティブに加え、『鬼滅の刃』を手掛けるユーフォーテーブル、『SPY×FAMILY』のウィットスタジオ、『呪術廻戦』のMAPPA、企画・プロデュースのSTORY inc.、フィギュア・キャラクター事業を展開するグッドスマイルカンパニー、美術の美峰などの業界有力企業が参画している。さらに、地元建設企業の新津組や越中屋商店など長野県佐久市および軽井沢町の有志・企業が参画しており、作品制作・興行・地域振興が一体となった事業基盤が構築されている。

あわせて館内では、新海誠監督作品を数多く手がけてきたアニメーション制作会社「コミックス・ウェーブ・フィルム（CWF）」の作品資料や絵コンテなどの貴重な制作データが常設・企画展示される予定である。映画上映機能のみならず、制作の舞台裏を体感できるアーカイブ・ミュージアム機能を兼ね備えることで、映画ファンやクリエイター志望層にとって極めて付加価値の高い文化拠点となることが期待されている。

| 項目   | 詳細情報                          | 出典 |
|------|-------------------------------|----|
| 施設名称 | なかごみ座（英字：Nakagomiza）          |    |
| 運営会社 | 株式会社CWF CINEMAS（代表取締役社長：川口典孝） |    |

|        |                                                                                                               |  |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 所在地    | 長野県佐久市中込1-20-1( JR小海線 中込駅前)                                                                                   |  |
| 資本金    | 4億2,000万円(資本準備金含む)                                                                                            |  |
| 開業予定時期 | 2027年春(当初計画の2026年夏より見直し)                                                                                      |  |
| 主要機能   | 映画館(スクリーン)、飲食・物販スペース、CWF作品資料・絵コンテ等展示エリア、コミュニティ交流空間                                                            |  |
| 主要株主   | コミックス・ウェーブ・フィルム、川口典孝、新海クリエイティブ、NT Holdings、越中屋商店、大井、新津組、STORY inc.、ユーフォーテーブル、ウィットスタジオ、グッドスマイルカンパニー、MAPPA、美峰ほか |  |

## 2. 周辺人口および既存観光基盤の定量的分析

「なかごみ座」の集客ポテンシャルを精査するにあたっては、足元商圈となる定住人口、広域からの観光流入客数、ならびに中込地区への交通利便性を構造的に把握することが不可欠である。

佐久市を中心とする佐久広域圏(小諸市、佐久市、南佐久郡、北佐久郡)の総人口は約20.4万人を数える。また、隣接する軽井沢町は近年移住者が増加傾向にあり、定住人口約2.17万人に加えて豊富な別荘所有者やワーケーション等の関係人口を抱えている。佐久地域唯一の映画館が閉館した影響により、現在これらの住民が映画を鑑賞するためには上田市や長野市など他地域へ移動せざるを得ず、地域内における潜在的な映画鑑賞需要は極めて高い状態にある。

一方、佐久広域全体の年間観光客数は、需要の回復傾向に伴い年間約800万人規模に達している。さらに、隣接する国際的リゾート地である軽井沢町には、夏季(7～8月)のみで約298.6万人の観光入り込み客が訪れており、その消費額は88億円を超えている。広域的な観光周遊ルートの中に中込地区を組み込むことができれば、莫大な観光トラフィックの一部を効果的に吸引することが可能となる。

比較対象として長野県内の既存単館系映画館の動向を見ると、上田市にある「上田映劇」は2館体制での年間観客数が約3万人規模で推移してきた歴史がある。なかごみ座は、後述する広域集客力や展示機能の集客力を加味することで、既存のミニシアターを大きく上回る動員ポテンシャルを有している。

| 区域・指標          | 人口・観光客数データ | 特記事項                 | 出典 |
|----------------|------------|----------------------|----|
| 佐久広域圏 総人口      | 204,539人   | 佐久市、小諸市、南佐久郡、北佐久郡の合計 |    |
| 軽井沢町 定住人口      | 21,761人    | 増加傾向、別荘・関係人口を多く含む    |    |
| 佐久広域 年間観光客数    | 約800万人     | 2024年に回復した広域観光需要     |    |
| 軽井沢町 夏季観光客数    | 298.6万人    | 7～8月の推定入り込み客数        |    |
| 比較指標:上田映劇年間観客数 | 約30,000人   | NPO法人運営時の観客数指標       |    |

建設予定地であるJR小海線中込駅は、北陸新幹線およびしなの鉄道が乗り入れる「佐久平駅」からJR小海線で2駅、乗車時間約10分（距離6.0km、片道運賃200円）の位置にある。東京駅から佐久平駅までは北陸新幹線で約1時間10分から1時間20分程度でアクセス可能であるため、首都圏からの日帰りはもとより、軽井沢滞在客の回遊エリアとしても良好な地理的条件を備えている。ただし、JR小海線は交通系ICカード（Suica等）の利用エリア外となっているため、新幹線乗換時のスムーズな発券案内など、観光客に対する二次交通の案内整備が実質的な課題となる。

### 3. アニメ聖地巡礼およびインバウンド需要の潜在力

新海誠監督作品を中心とするコンテンツは、国内外で強大な観光誘客効果を及ぼしてきた実績がある。本施設は映画上映という興行機能に加え、コンテンツの聖地および文化拠点としての観光目的地機能を兼ね備える。

過去のアニメ聖地巡礼の事例を検証すると、新海監督の代表作『君の名は。』のモデル地となった岐阜県飛騨市では、映画が公開された2016年に観光客が前年比で3.5万人増加した。同作に関連する聖地巡礼消費による経済波及効果は、岐阜県内だけでも約230億から253億円に達したと算定されている。また、長野県内においても諏訪市の立石公園などが聖地として定着し、継続的なファン流入が確認されている。

中込駅周辺は新海監督の青春時代の原風景そのものであり、アニメーターの大橋実による劇場イメージビジュアルの描き下ろしや公式SNSでの情報発信、地元の佐久千曲川大花火大会への協賛・オリジナルグッズ販売などを通じて、開業前からファンコミュニティとの接点が構築されている<sup>1</sup>。さらに、コミックス・ウェブ・フィルム（CWF）が所蔵する作品の絵コンテや生原画、背景美術資料などの貴重な制作データが館内に展示されることで、単に映画を観るだけでなく「制作の神髄に触れる」体験価値が加わり、公開周期に左右されない通年型の目的地（デスティネーション）としての魅力が確

立される。

インバウンド(訪日外国人観光客)の需要動向に関しても高い拡大余力が存在する。北陸信越運輸局管内の外国人延べ宿泊者数は堅調な推移を見せており、コロナ前との比較でも大幅な伸びを示している。東アジア圏をはじめとする海外市場において新海誠作品の認知度は極めて高く、『君の名は。』が中国市場で興行収入約88.5億円を記録したことに象徴されるように、海外からのファン層が厚い。さらに、出資企業であるMAPPAやユーフォーテーブルなどの制作作品も世界的な知名度を誇るため、「新海作品の原風景」「貴重な絵コンテ・資料展示」「日本アニメの発信拠点」としての複合的なブランディングにより、欧米系・アジア系双方のインバウンド客を佐久市中込へと誘引する強みが存在する。

## 4. 年間予想来訪客数の試算・予測モデル

「なかごみ座」に訪れる年間来訪客数を正確に導き出すため、需要を「地元・佐久広域圏住民の日常鑑賞需要」「国内のアニメ・新海誠ファン層の聖地巡礼需要」「インバウンド客の観光需要」「特別イベント・制作資料展示・企画上映時の広域動員」の4セグメントに分解し、定量的な予測モデルを構築した。

予測モデルの設定にあたっては、地域の定住人口に対する鑑賞頻度、軽井沢等の近隣観光地からの回遊率、貴重な資料展示によるリピート・滞在喚起効果、および過去のアニメ聖地巡礼における観光増減数データを統合している。

標準シナリオ(現実的予測)においては、佐久広域圏20万人のうち約17%が年1回程度利用することで約3.5万人の地元需要が発生すると試算される。これに飛騨市事例(初年度+3.5万人)と同等の国内ファン流入(3.5万人)、軽井沢に訪れる数百万人の観光客・インバウンド層からの回遊(1.5万人)、ならびに有名制作スタジオのアライアンスやCWF資料展示・特別興行による集客(1.5万人)を加算することで、年間来訪客数は約10万人(月平均約8,300人、日平均約270人)と推計される。

| 区分            | ベースライン<br>(保守的) | 標準シナリオ<br>(現実的) | 楽観シナリオ<br>(最大化) | 算定根拠および要素                                              |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------------------------------------------------------|
| 地元定住人口<br>需要  | 25,000人         | 35,000人         | 45,000人         | 佐久広域人口<br>20.4万人の年<br>0.12～0.22回鑑<br>賞(映画館不在<br>の反動需要) |
| 国内聖地巡礼<br>ファン | 15,000人         | 35,000人         | 60,000人         | 飛騨市事例(初<br>年度+3.5万人)<br>や長野県内聖<br>地動向からの<br>推計         |
| インバウンド観<br>光客 | 5,000人          | 15,000人         | 30,000人         | 軽井沢訪日客<br>(数万～数十万<br>人規模)からの                           |

|              |                |                 |                 |                                                             |
|--------------|----------------|-----------------|-----------------|-------------------------------------------------------------|
|              |                |                 |                 | 回遊率0.5%～<br>3%換算                                            |
| 展示・企画鑑賞<br>客 | 5,000人         | 15,000人         | 25,000人         | CWF制作資料・<br>絵コンテ展、出<br>資各社（<br>MAPPA,<br>ufotable等）企<br>画上映 |
| 年間総来訪客<br>数  | <b>50,000人</b> | <b>100,000人</b> | <b>160,000人</b> | 「なかごみ座」<br>への年間予想<br>来訪客数の合<br>計                            |

ベースライン（保守的シナリオ）では、イベント開催や観光回遊が最小限にとどまった場合でも年間5万人の集客が見込まれる。一方、新海誠監督の新作映画公開年や、大規模なスタジオ合同企画展、監督・声優陣による舞台挨拶が集中する楽観シナリオにおいては、年間16万人規模の来訪客数が期待できる。

標準シナリオにおける来訪客の構成比を分析すると、地元需要が約35%、外需（聖地巡礼・観光・インバウンド・展示企画）が約65%を占める計算となる。CWFのアーカイブ展示機能が加わることで、上映スケジュールと時間が合わない観光客であっても館内に立ち寄る動機が形成され、地方都市の映画館が直面しがちな「稼働率の平準化」や外需獲得による財務持続可能性の向上が見込まれる。

## 5. 地域経済波及効果の構造分析と事業推進課題

「なかごみ座」の開業がもたらす経済波及効果は、映画館単体でのチケット売上やグッズ売上といった直接的経済効果にとどまらず、中込地区および佐久市全体へ多層的に波及する。

直接的な消費として、施設内での映画鑑賞料および展示観覧料、パンフレットや劇場限定オリジナルグッズの購入が挙げられる。中込駅前の立地を生かした回遊行動により、来訪客は中込商店街（サングリモ中込等）の飲食店や喫茶店、カフェを利用し、地域での飲食・日常買い物消費が発生する。この流出効果は、かつて「中込座」が賑わいをもたらした商店街の活気を現代に再生させる原動力となる。

広域的な波及効果としては、JR小海線等の公共交通機関の利用促進や、遠方からの来訪者による佐久平駅周辺および佐久市内のホテル・旅館への宿泊消費が生まれる。さらに、軽井沢リゾートでの滞在と中込でのアニメ文化・展示鑑賞体験を組み合わせた広域観光ルートが確立されることで、長野県東信エリア全体の観光単価向上に寄与する。

事業の成功に向けては、いくつかの課題と対応策が存在する。第一に、近年の建築資材および人件費の高騰に伴う建設費用の増加に対し、増資後の資金計画を計画通りに執行し、安定した財務基盤を維持することが重要である<sup>3</sup>。第二に、JR小海線における交通系ICカード非対応というアクセスの摩擦を解消するため、佐久平駅や小海線車内でのわかりやすい乗車案内やデジタルチケットの導入など、二次交通の利便性向上が不可欠である。第三に、映画館という枠組みを超え、事業内容に掲げられている「飲食・物販・展示事業（CWF作品資料や絵コンテの展示等）」や地域のコミュニ



ティ拠点機能を最大化し、映画を鑑賞しない層も日常的に立ち寄れる空間形成を行うことが、長期的かつ安定的な集客の鍵となる。

## 6. 結論

長野県佐久市中込における「なかごみ座」の建設プロジェクトは、映画館の閉館に直面した地方都市において、アニメーション制作会社や大手エンターテインメント企業、地元有志が協調して新たな文化興行拠点を創出する先進的な試みである。

本調査に基づく需要予測では、年間来訪客数は標準シナリオで約10万人、新作公開時や大規模企画展の開催時には最大16万人規模に達すると試算される。佐久広域圏20万人の定住人口による日常的需要を基盤としつつ、軽井沢エリアの数百万人に及ぶ観光・インバウンド客や、国内外のアニメファン層を中込駅前へと誘導することで、高水準の外需獲得が見込まれる。

特に、劇場上映に加えて「コミックス・ウェーブ・フィルム(CWF)が手がける作品資料や絵コンテなどの貴重な制作データ展示」が常設・企画展開されることは、映画の興行サイクルに左右されない通年での集客エンジンとなり、中込商店街への波及効果や施設利用者の滞在時間延伸に大きく寄与する。

2027年春の開業に向け<sup>3</sup>、劇場機能とアーカイブ展示機能の整備、商店街との連携、二次交通の利便性向上を一体的に推進することが、事業の収益性と地域経済の活性化を両立させる上で極めて重要である。

## 引用文献

1. 新海誠監督所属の制作会社が長野・佐久に映画館「なかごみ座」2027年春開業へ。、  
<https://branc.jp/article/2026/08/06/2972.html>
2. 長野県佐久地域に新たな映画館「なかごみ座」が2027年春開業へ、新海誠監督作品支えたアニメーターがイメージビジュアル描き下ろし - Kiniwada,  
<https://sogonews.naokiti3.com/2026/08/05/%E9%95%B7%E9%87%8E%E7%9C%8C%E4%BD%90%E4%B9%85%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E3%81%AB%E6%96%B0%E3%81%9F%E3%81%AA%E6%98%A0%E7%94%BB%E9%A4%A8%E3%80%8C%E3%81%AA%E3%81%8B%E3%81%94%E3%81%BF%E5%BA%A7%E3%80%8D%E3%81%8C20/>
3. 長野佐久市CWF CINEMASの映画館計画 地元有志やアニメ企業が資金支援,  
<http://animationbusiness.info/archives/16964>